

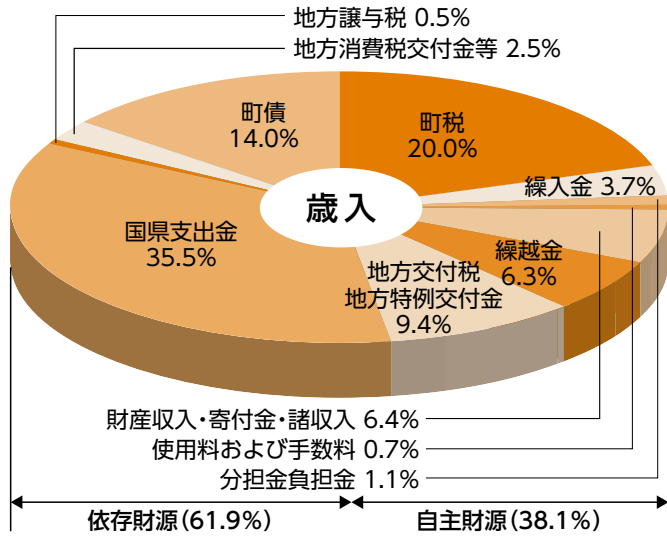
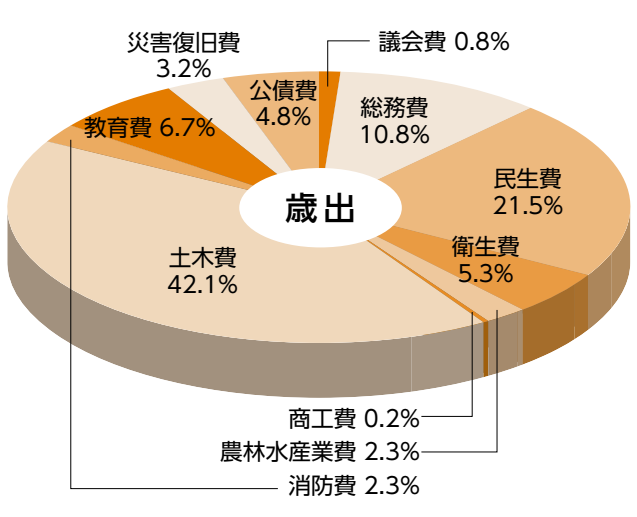
歳出総額

80億7667万7千円

歳入総額

85億1016万9千円

嘉島町 2019 (令和元) 年度一般会計決算



議会費	6360万4千円
総務費	8億7658万9千円
民生費	17億3610万7千円
衛生費	4億2868万7千円
農林水産業費	1億8716万6千円
商工費	1612万5千円
土木費	33億9960万3千円
消防費	1億8530万7千円
教育費	5億4068万7千円
災害復旧費	2億5663万8千円
公債費	3億8616万4千円
<b>2019年度 歳出決算額</b>	<b>80億7667万7千円</b>

町税	17億0636万8千円
繰入金	3億1855万6千円
分担金負担金	9268万1千円
使用料および手数料	5551万8千円
財産収入	477万7千円
繰越金	5億3233万0千円
諸収入	3億3987万0千円
寄付金	1億9609万6千円
地方交付税	7億6013万6千円
地方特例交付金	3593万1千円
国県支出金	30億2351万5千円
地方譲与税	4114万7千円
利子割交付金	54万4千円
配当割交付金	225万2千円
株式譲渡所得割交付金	150万7千円
地方消費税交付金	1億9871万7千円
自動車取得税交付金	637万6千円
交通安全特別対策交付金	188万3千円
町債	11億9196万4千円
<b>2019年度 歳入決算額</b>	<b>85億1016万9千円</b>

2019年度 嘉島町特別会計決算

国民健康保険	歳入	11億4156万1千円
	歳出	11億1466万0千円
住宅新築資金等	歳入	76万1千円
	歳出	15万0千円
介護保険	歳入	8億9302万4千円
	歳出	8億3641万7千円
公共下水道事業	歳入	5億6840万8千円
	歳出	5億5306万1千円
後期高齢者医療	歳入	1億2930万4千円
	歳出	1億2330万2千円
簡易水道	歳入	8057万5千円
	歳出	7339万8千円

- 2019年度 町の主な事業
- 道路橋りょう新設改良事業 3億2450万7千円
  - 運動公園整備事業 2億9961万1千円
  - 嘉島東部台地土地画整理事業 2億427万5千円
  - 保育所施設整備補助金事業 2億173万8千円
  - 芝原地区土地画整理事業 1億7708万5千円
  - 埋蔵文化財施設建設事業 1億835万円
  - 防犯カメラ設置事業 2209万9千円

歳入 48.06%増

# 自主財源比 38.1%

歳出 54.86%増

# 扶助費などの経費増

嘉島町の一般会計、ならびに国民健康保険はじめ六つの特別会計の2019(令和元)年度決算が、町議会の9月定例会(9月4、5日)でいずれも認定されました。町一般会計は、歳入、歳出共に総額が前年度の1.5倍前後と大幅増。投資的経費が2倍強となるなど総額で80億円を突破した歳出規模は大きく膨らんで震災前に比べ、ほぼ倍増となりました。

## 歳入

町の19年度一般会計の歳入総額は85億1016万9千円で対前年度比48.06%の増加です。

昨今の人口増や企業誘致が功を奏し、町税が前年度から1億3643万7千円(率にして8.7%)増えて17億636万8千円に。14億円台だった震災前を上回り、歳入に占める割合はほぼ2割となりました。

国・県の財政出動も盛んで国・県からの支出金は30億2351万5千円に前年度から15億5287万7千円もの大幅アップ。さらに一般家庭の借入金に当たる町債も前年度の4億2073万2千円から

11億9196万4千円へ2.8倍となりました。

なお、総額で32億4619万7千円になった自主財源の構成比は前年度の48.2%から38.1%へ10.1%ダウンしました。

## 歳出

前年度から28億6105万9千円(率にして54.86%)もの増額となった歳出の総額は80億7667万7千円。震災復旧・復興で73億円超まで膨らんだ17年度を上回りました。

これは、33億9960万3千円の土木費をはじめとする投資的経費が38億345万1千円に前年度から25億629

1万3千円、実に206.6%も跳ね上がったためです。震災復興はもとより、日々の暮らしに欠かせない道路や橋の新設・改良、加えて芝原や東部台地の土地区画整理事など次代へ向けた振興策も目配り。

経常的経費のうち補助費や人件費などの削減に努めていますが、義務的経費のうち扶助費9億3859万3千円や借入返済の公債費3億8616万4千円などの比重が増してきました。

## 特別会計

町の19年度特別会計は、国民健康保険など6会計です。特別6会計の歳入総額は28億1363万4千円で対前年度比6.36%減、歳出の総額はほぼ横ばいで27億98万7千円でした。

例年、注目される町民の医療費ですが、国保の被保険者1人当たりに換算すると、42万1322円で、前年度の45万7612円から3万6290円、7.93%減少しました。

## 臨機応変な財政運営のために

町一般会計の19年度決算は、地方自治体に関する財政健全化法で公表が義務付けられている実質公債費比率をはじめとする健全度判断の4指標がいずれも基準内に収まっています。

ただ、人件費や社会保障費、公債費など経常的に必要な費用の割合「経常収支比率」が96.5%へ対前年度比5.3%アップ。財政規模に対して

## 新型コロナウイルスの行方 注視

将来の負債が占める割合を示す「将来負担比率」もジワリ同0.9%増の68.7%に。

これまでの震災復興から、今後は新型コロナウイルス対策が欠かせず、臨機応変な財政運営を続行していくため、引き続き財政規律を厳守する方針です。

(財政係)